

個票 15 水田の代かき時の濁水流出の防止〔農 2(2)②12-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	多様な水辺環境の保全・創出		
配慮事例	工事による土砂流出・堆積、濁水の防止策の実施		
内容	<p>●水田の代かき時の濁水流下の防止</p> <p>【解説】</p> <p>代かき時に水田から流出した濁水は、排水路を通じて下流域の水質汚濁を引き起こし、生物の生息・生育環境に影響を与えるおそれがあります。このことから、農地管理においては、下流への濁水の流出を防止することが必要です。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>●水田からの排水（濁水）管理</p> <p>代かき時や田植え時に、水田から濁水（排水）が流れ出るのを防ぐために、排水止水板の設置、代かき時のかけ流しの抑制、無代かき栽培の実施などの対策が考えられます。</p>		
	参考資料	1 「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き（第3編）『ほ場整備（水田・畑）』」食料・農業・農村政策審議会、農村振興分科会、農業農村整備部会、技術小委員会 p 121～122	